

野球

平成27年度春季近畿地区高等学校野球大会

1回戦

彦根東 3 - 2 大阪桐蔭



速報新聞

キマグレ

発行所  
彦根東高等学校  
新聞部  
彦根市金亀町4番7号



▼8回表、大阪桐蔭のエース田中君(写真左)から本塁打を放つ森杉君

森杉君が決勝本塁打  
強豪相手に劇的勝利

5月24日、県立彦根球場で平成27年度春季近畿地区高等学校野球大会1回戦が行われた。本校は大阪桐蔭高校(大阪1位)と対戦し3-2で勝利した。準決勝は30日に行われ龍谷大付属平安高校(京都1位)を下した北大津高校と対戦する。

初回は両校が無失点に抑え2回表、先頭の篠原漣君(3-4)がレフトへ本塁打を放ち、先制点を挙げた。3回裏は二死満塁とされるも三塁ゴロでピンチを切り抜けた。4回表は1、2塁のチャンスを作ったが得点には至らなかった。その裏ヒット性の当たりを百田康紀君(3-4)がアウトに仕留めたがその後同点に追い付かれた。6回表、鯉江里輝君(2-8)がセンター前ヒットで出塁し、盗塁などで二死2塁のチャンスを作り、篠原君のセンター前への適時打により1点を勝ち越した。8回表、相手のピッチャーがエース田中君に交代。先頭の森杉亮太君(3-3)がホームランを放ち再び勝ち越しに成功した。最終回の裏、先頭打者の三遊間の当たりを百田君が好捕した。後続を断ちきり勝利を収めた。

試合後、決勝打を放った森杉君は「チャンスを作る」と思った結果が本塁打になってよかった」と振り返った。2失点で完投したエースの佐々木大樹君(3-5)は「今日は腕を振って投げられた。ピンチの時も内野が助けてくれた」と笑顔を見せた。主将の篠原君は「ピンチは山ほどあったがよく投げ抜いてくれた」と佐々木君をたたえた。監督の村中隆之先生は「近畿大会で戦えることに喜びを感じながら戦っていききたい」と力強く話された。

準決勝 VS 北大津  
30日 12時30分  
於 県立彦根球場

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
彦根東	0	1	0	0	0	1	0	1	0	3
大阪桐蔭	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2